

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立愛珠幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

○アンケート結果から、園の教育に対する姿勢が保護者に深く理解されていることが伺える。全ての項目で高い肯定的回答の割合が出ていることが評価として表れている。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ① 保護者アンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごすための約束や決まりを意識できるような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を60%以上にする。
- ② 保護者アンケートで、「幼稚園は、進んで身の回りの始末や整理整頓をしようとする態度が身につくような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合を50%以上にする。

【安全・安心な教育の推進】

- ① 1月の保護者アンケートで、「幼稚園は、お子様が生活の中で安全に過ごすための約束や決まりを意識できるような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合は97%であった。
- ② 1月の保護者アンケートで、「幼稚園は、進んで身の回りの始末や整理整頓をしようとする態度が身につくような指導や環境の工夫をしていますか」の項目について、「そう思う」の割合は94%であった。

○安全は園運営にとって大切なことである。地域の特性上、外部委託が可能ではないか。外部委託できる部分があればしていけばよい。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 保護者アンケートで、「お子様は、様々な活動を通して、自分なりに表現することを楽しんでいますか」という項目について、「そう思う」の割合を60%以上にする。
- ② 保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいませんか」という項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「お子様は、基本的な生活習慣が身に付いてきていますか（手洗いや食事等）」の項目について、「そう思う」の割合を50%以上にする。

【未来を切り開く学力・体力の向上】

- ① 1月の保護者アンケートで、「お子様は、様々な活動を通して、自分なりに表現することを楽しんでいますか」の項目について、「そう思う」の割合は97%であった。
- ② 1月の保護者アンケートで、「お子様は、体を動かして遊ぶことを楽しんでいませんか」の項目について、「そう思う」の割合は96%であった。
- ③ 1月の保護者アンケートで、「お子様は、基本的な生活習慣が身に付いてきていますか（手洗いや食事等）」の項目について、「そう思う」の割合は89%であった。

○取組内容②について、園内研修の回数が目標の3回に達することができずBとされているが、年度目標についての評価基準が達成度であり、大きく上回っている。充実した保育をしてくださっているので、回数の達成率を気にせず、A評価でよいと考える。

出席者賛同のため、A評価とする。

- 行事を振り返るとすべてのことがつながっていることが分かった。評価のための業務ではなく、やりがいを感じられるような、目標達成を目指しやすい内容にするとよいのではないか。

年度目標：【**学びを支える教育環境の充実**】

- ① 教職員アンケートで、「校務支援システム（SKIP ポータル）校務機能・帳票、ホームページ、保育支援システム等、ICT を活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ② 教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う」の割合を70%以上にする。
- ③ 保護者アンケートで、「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う」の割合を80%以上にする。

【**学びを支える教育環境の充実**】

- ① 月の教職員アンケートで、「校務支援システム（SKIP ポータル）校務機能・帳票、ホームページ、保育支援システム等、ICT を活用した業務について、操作技術が身に付き活用している」の項目について、「そう思う」の割合は100%であった。
- ② 1月の教職員アンケートで、「研修等への参加や、振り返りの機会は、自身の資質向上につながっている」の項目について、「そう思う」の割合は100%であった。
- ③ 1月の保護者アンケートで「幼稚園は、教育方針や特色ある園運営についての理解・推進、家庭教育や地域の子育ての支援等に向け、写真や情報誌、ホームページ等で知らせている」の項目について、「そう思う」の割合は92%であった。

- 教職員がゆとりをもちモチベーションを高くもってほしい。ゆとりをもち、ストレス無く過ごせるよう、重要性の低いものは割愛する、民間の効率的なやり方を取り入れていくなどするのも方法の一つと考える。

- 上記、【**未来を切り拓く学力・体力の向上**】の取組内容②と同様の意見である。A評価でよいと考える。

出席者賛同のため、A評価とする。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 今後も見通しのある教育活動を展開できるよう、歴史や伝統を大切にしながら、活動の精選や実施時期等を再考し、子どもたちにふさわしい幼児期の学びを保証できるよう取り組んでほしい。

- 負担軽減、業務の効率化は園内でも精査すべきだが、現場だけで解決できるものではない。業務の軽減、よりよい組織づくりとなり、制度として反映できるように、行政・関係機関と精査していくべきと考える。